

# スポーツで社会貢献

## 三菱東京UFJ銀

スポーツを通じた社会貢献活動の一環として、競技者や団体を支援し、表彰する世界的な組織「ローレウス」のグローバル・パートナーに就任する。2月26日からモナコで開催の「ローレウス世界スポーツ賞2018」で発表し3月から活動を本格化する。同組織は、ダイム

ラーAGとリシュモン・グループが2000年に共同で設立。今後は日本人初のアンバサダーに就任したサッカーの香川真司選手との提携イベントなどにも関わっていく。

# 法人向けコンテスタ

## 三井住友銀

外部の発想や知見をオープンに取り入れてサービス品質を高めるため、法人向け新サービスのビジネスコンテスタを4月12日に初開催する。同行では2017年12月27日に他の

大手行に先駆けて「電子決済等代行業者との連携 および協働に係る方針」を公表し、APIなどの新たなテクノロジーを積極活用する方針を打ち出していた。募集期間は2月19日～3月13日。優れたアイデアを生み出した企業には報奨金を出すほか、実用化も検討する。

因も説明。は「米国の景日本の景気拡大にもつなが景気が強すぎ

ず、弱すぎず、ぬるま湯の状態が続けば、利上げを急ぐ必要は小さく、景気拡大は長続きしやす」と解説した。

# ボット活用

## グループ各社に展開

システム。たのAIではデータ運用段階な知識の登録手による「教で、運用に力がかかるとあった。ま

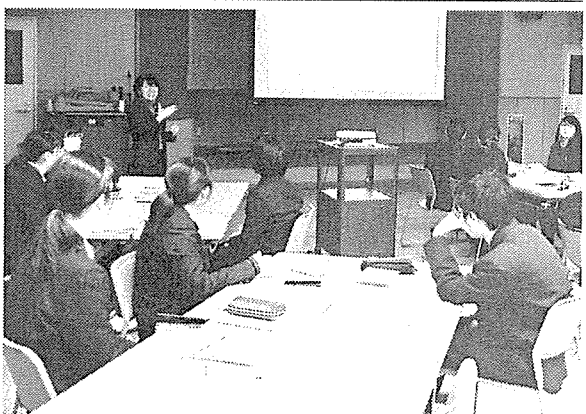
当初から高い精度を揮えるようにしたAIが管理を対して新たな知識の登録を示唆する機能も開発したため、AIの継続的な学習を効率的・短時間でできる。これらの機能は業務効率化を実現



因では期待す出なかった。三井住友銀イクロソフト独自のシステムAI自身が生成し自を生成し自を生成し自システム利用システム201



ミニッツクソンに寄付するセブンの舟竹泰昭副社長（左）とニッポン放送の岩崎正幸社長（2月5日）



持続可能な世界を実現するために何かができるかを考える高校生たち（2月14日、滋賀県立守山中学校・高等学校）

BC日興証券が社内システム関連の社内紹介窓口として開発に着手。SMBCCコンシューマーファイナンスも顧客からの問い合わせ窓口としてシステム開発を始めた。いずれも18年度上期中の導入を目指す。

高校生に環境教育 三井住友信託銀、持続可能な開発がテーマ 三井住友信託銀行は2月14日、滋賀県立守山中学校・高等学校で「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点か

貸付信託の歴史に幕 三井住友信託銀、1月末で残高ゼロ 三井住友信託銀行が扱っていた貸付信託の残高が1月末でゼロになり、誕生から65年の歴史に幕を閉じた。貸付信託はかつて信託銀行が販売していた貯蓄型信託商品。1952年制定の「貸付信託法」に基づいて取り扱いを開始。電力会社や鉄鋼業、鉱業など戦後日本を代表する基幹産業を中心に資金が貸し付けられた。収益満期受け取り型は「ビッグの愛称で親しまれ、92年度末の貸付信託残高は56兆円と過去最高を記録した。

定期性預金	
5	118,954
3	△207
7	56,619
0	△709
1	5,765
4	351
3	181,338
9	△565

業績順◎三井住